

居合道 だより

第 192 号





はじめに

先月末、観測史上最も早く梅雨明けが宣言された。ここ数年来、気候に関しては史上初という言葉が頻繁に聞かれるようになった。温暖化や酷暑、集中豪雨と間違いなく地球環境は人類にとって悪化の方向へ進んでいる。

加えて、2年半以上前から続くコロナ渦は若干減少傾向とはいえまだ油断できない。基本に忠実に三蜜等を守って日常を過ごす他はなかろう。

しかし今年は3年ぶりに県居合道大会が開催出来ることになった。一步一步前進あるのみである。

今年度より、永年会長を務めてこられた迫野先生の後を継いで会長職を拝命した。

もとより浅学非才の身ではあるが、チームによる指導体制が整いつつある組織の長としては、これからも会員の皆様方の活躍を見守っていただけである。

基本は会員の会員による会員のための居合道部であるからして。

夢想神伝流に 1 本目「初発刀」という技がある。その元は無双直伝英信流の 1 本目「前」であり、全剣連居合 1 本目「前」の原型である。抜き付け、切り付け、血振り、納刀と居合の基本要素が詰まっている。

筆者が居合を始めた頃は古流が主流で、師匠からは「とにかく初発刀を抜け！」と言われた。来る日も来る日も「初発刀を抜け！」であった。そもそもそれ以上はまともに教えてはもらえなかったのである。

そしてある時期、それなりに初発刀が抜けるようになったのかどうか、立て続けに大森流の残り 1 1 本を教わった。

それから約 5 0 年、修行を重ねるとともにどんどん初発刀が難しくなってきた。

居合は「鞘の内」と言われる。「来るな、来るな、抜くな、抜くな」と念じ、相手が柄から手を離せばこちらは何事もなかったように端然と座す。それでも相手が抜いてくればやむなく一瞬早く抜き付ける。初発刀は技だけではなく精神も居合の基本（居て合わせる。）である。

しかし何十万、何百万回抜いてきても、これだ！という感触に至らない。かつて、かすかにその感触に近づいたような気がしたことはあるのだが。

『紫電一閃払妖雲』

居合道部会長 井手 友太

7月・8月の予定

7月10日	第55回福岡県居合道大会	福岡剣連	福岡武道館
7月22日	居合道段位審査会（6・7段）	全剣連	岡山市
7月23－24日	居合道地区講習会	全剣連	岡山市
8月7日	福岡県居合道講習会	福岡剣連	福岡武道館

編集後記

さあ、いよいよ！待ちに待った県大会が開催される！2019年以来3年ぶりであります。また全剣連の地区講習会も岡山で行われます。

梅雨も早々に明け、カンカン照りで、「危険な暑さ」と言われる日が続きます。水分補給と休憩はこまめにしましょう。

さて、居合道初心者体験教室が今年は開催されております。未来の居合道部を背負って立つ老若男女！を受け入れて、新しい風を吹き込むが如くはじまりました。

本部の方では、貸出用の木刀や帯なども貸し出してくれるそうですので、道具がない時は是非事務局にお尋ねください。

皆様何卒ご協力のほどお願いします。

今回の表紙は「初心者用ビデオ」の下緒の結び方にご協力いただいた、飯塚居合道同好会の石川さん（1級）です。新品の袴でご協力いただきました。（感謝）

© 公益社団法人 福岡県剣道連盟・福岡県剣道連盟 居合道部

第192号 令和4年7月発行

発行：福岡県剣道連盟居合道部

URL：<http://riai.info/>

発行人：井手友太

〒819-1132 糸島市有田36番地-1

TEL:092-322-0847

編集：有限会社 FEW